

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2004-538610(P2004-538610A)

【公表日】平成16年12月24日(2004.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2004-050

【出願番号】特願2003-520018(P2003-520018)

【国際特許分類】

H 01M 4/58 (2006.01)

H 01M 4/02 (2006.01)

H 01M 10/40 (2006.01)

【F I】

H 01M 4/58

H 01M 4/02 C

H 01M 10/40 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月2日(2005.8.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式 (a) $L_i_y [M^1_{(1-b)} M^{n_b}] O_2$ または (b) $L_i_x [M^1_{(1-b)} M^{n_b}] O_{1.5+c}$ (式中、 $0 < y < 1$ 、 $0 < b < 1$ 、および $0 < c < 0.5$ であり、そして M^1 は、1種以上の金属元素を表す。ただし、(a)の場合、 M^1 は、クロム以外の金属元素である。) を有するリチウムイオンバッテリー用カソード組成物であって、

リチウムイオンバッテリーに組み込んで 30 mA/g の放電電流を用いて 30 および 130 mA h/g の最終容量で 100 回の完全充放電サイクルのサイクル動作を行ったときにスピネル結晶構造への相転移を起こさない O3 結晶構造を有する単一相の形態であることを特徴とする、リチウムイオンバッテリー用カソード組成物。

【請求項2】

(a) アノードと、

(b) カソードと、

(c) 該アノードと該カソードとを分離する電解質と、
を備えるリチウムイオンバッテリーであって、

該カソードが、請求項1に記載のカソード組成物を含む、リチウムイオンバッテリー。